

赤磐市内の事故発生状況

区分 期 間	人身	死亡	負傷者数		
			重傷	軽傷	計
令和7年12月中	8	0	1	8	9
前年比 増減	7	0	1	7	8
令和7年1月～令和7年12月末	53	0	12	46	58
前年比 増減	-15	-2	2	-26	-24



今年も守ろう 命とルール
～1年の交通安全目標を立てましょう～



長期休暇明けは、集中力が落ちたり判断が遅れたりしやすくなります。さらに、交通量の増加にも注意が必要です。休み明けは、特にゆっくり・しっかりと確認しましょう。「あせらない・見落とさない・無理をしない」を合言葉に安全運転をお願いします。



一時停止標識について

3秒は止まって
確認を！

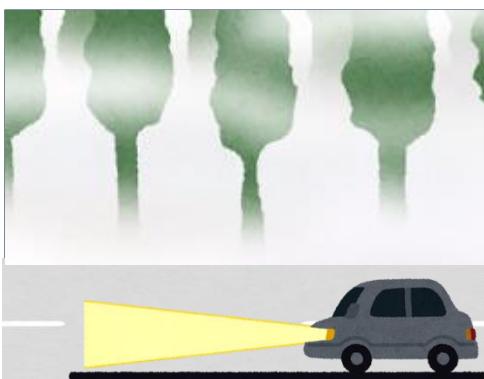


目的・・・この標識の目的は、“止まること”ではなく、“安全を確保すること”です。

対象・・・車・バイクはもちろん、自転車も軽車両になります。必ず一時停止して、左右を確認しましょう。

停止位置・・・停止線の直前です。見えにくい場合でも、停止線を過ぎて止まるのではなく、直前で一度止まり、必要に応じて多段階停止をしましょう。

一時停止は安全確認だけでなく、周囲に自分の接近を知らせる役割もあります。また、この標識は事故が発生しやすい場所や見通しの悪い所に設置されているため、車両だけでなく、歩行者もしっかり注意して行動しましょう。



これは○かな×かな！？

Q. 朝、出勤のため、家を出ると霧が濃く視界が悪かった。
よく見えるよう、ライトをハイビームにして走行した。
この判断は○?×?

A. 正解は×。夜間だけでなく、霧や大雨、雪などの悪天候ではライトを点灯することが大切ですが、濃霧時にハイビームを使うと、光が乱反射して、視界が悪くなります。そのため、ライトの向きはロービームで、安全な速度で走行するようにしましょう。